

陸軍部

自昭和二十年一月一日
至昭和二十年一月三十一日

陣中日誌



獨立遠射砲第二十二大隊第三中隊



一月一日

晴

嘉敷

四方



一、高日命第五六號ニヨル部隊新年拜賀式ヲ取止メ中隊ハ〇九〇〇

ヨリ嘉敷宿營地ニ於テ遙拜式ヲ舉行ス

二、〇九一三空襲警報發令中隊ハ速ニ池田伍長以下四名ノ對空監視

哨ヲ配置シ至嚴ナル警戒ヲ任ニツカシム

三、一〇三〇空襲警報解除

四、一〇四〇警戒警報解除

五、將校全員一〇〇〇ヨリ本部ニ於ケル交禮會ニ出席ス

六、本日現員將校二名 下士官兵七六名

一月二日

晴

嘉敷



一、中隊ハ本日休養トシ一般ニ宿舍内ニ於テ休養ヲ興フ

二、一〇〇〇ヨリ將校全員交禮會ヲ催ス

三、本日現員將校二名 下士官兵七六名

一月三日

一、〇八三〇ヨリ宮城作業隊陣地構築作業ヲ續行嘉敷作業

嘉 晴
元 始
祭 報

隊ハ軍紀教練ノ後陣地構築作業ヲ実施ス

二〇九二〇 空襲警報発令ト同時ニ本島東海岸及西海岸

上空ニ敵機ヲ発見ス

中隊ハ所要ノ對空監視哨ヲ嘉敷東北側高地ニ配シ爾餘ノ者ハ

陣地配備ニツク

一〇一五頃ヨリ波状的ニ敵機ノ攻撃ヲ受ケルモ少数敵機ニシテ損

害ナシ 中隊ハ空襲下陣地構築作業ヲ續行ス

三一二〇五 空襲警報解除

四 本日受信情報左ノ如シ

一 本島損害ナシ 現在迄判明セル戦果撃墜撃破各ニ

讀谷飛行場ノ電波器警戒ニヨリ讀谷地点六〇度(東)

ノ方向ニ反射大ナリ警戒ヲ要ス

ニ本日一〇三〇台北高雄基隆敵戦爆連合約百機來

襲セリ 詳細不明

情報

陣中日誌用紙

高日命
別紙一

五、中隊ハ引續キ對空監視哨ヲ配置シ至嚴ナル警戒ヲ行フ

六、高日命第一號受領別紙ノ如シ

七、本週勤務者 週番士官 川瀬曹長

週番下士官 池田任長

八、本日現員 將校二名 下士官兵七六名

一月四日

嘉 雨

一、中隊ハ〇八三〇嘉敷宿營者全員整列ノ上勅諭奉讀式ヲ
舉行ス

二、〇九三〇 柿原曹長ヲテ學科ヲ實施セシム

三、〇九五五 空襲警報発令ト同時ニ學科ヲ取止メ所要ノ對空

監視哨ヲ配置シ武装ヲ整へ各宿舍ニ於テ待機セシム

情報左ノ如シ

敵機十三機讀谷飛行場ヲ空襲 更ニ那覇ヲ爆撃南方ニ脱去

セリ 戦果損害不明

情報

四 一〇〇〇 空襲警報解除

五 一四〇〇 醫務室ニ於テ第二回赤痢豫防接種ヲ実施ス

六 本日現員 將校二名 下士官兵七六名

一月五日

一 中隊ハ本日休養トシ一般ニ外出ヲ許可ス
本日外出人員 下士官以下十五名 〇八三〇一六〇〇

嘉雲
新年宴會

二 高日命第三號 受領別紙ノ如シ

四 本日ヨリ林伐材隊要員トシテ陸軍上等兵小坂利夫陸
軍一等兵向井重 同西條國雄ヲ〇八三〇本部ニ差出シ

林中尉ノ指揮下ニ入レルム

五 本日現員 將校二名 下士官兵七六名

一月六日

一 中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス

一月七日

嘉雲

二〇九〇〇 兵長以上 高日命第三號ニ基ク本部ニ於ケル格闘射撃

教育ニ出席受講ス

三 一三四〇 警戒警報解除

四 一四〇〇 醫務室ニ於テ三種混合豫防接種ヲ実施シ休養ス

五 一六〇〇 本部ニ於ケル現地自治掛會報ニ長谷川軍曹出席ス

連三作命丙第八號 受領別紙ノ如シ

七 本日作業人員 三九名 勞務者 八名

八 本日現員 將校二名 下士官兵七六名

一月七日

一 中隊ハ昨日三種混合接種ヲナセルニ付本日午前中休養トス

二 〇八三〇 中隊長ハ川瀬曹長ヲ帶同シ宮城作業隊陣地構築
情況視察ノ為メ出張一五〇〇 歸隊ス

三 中隊ハ一三〇〇ヨリ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作
業ヲ續行ス

一月八日
曇一晴
嘉數
大昭和日

三学林

一月九日
雨

- 四 一八〇〇池田任長ヲシテ直突射撃訓練ヲ実施ス
- 五 本日作業人員ニ五名
- 六 本日現員 將校ニ名 下士官兵 七六名

- 一 中隊ハ〇七〇〇 詔書奉讀式ヲ舉行 中隊長訓示ヲ行フ
- 二 〇九〇〇 所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
- 三 虫様突起火ノ屬 津霸第六十二師團野戰病院ニ入院加療中ノ 陸軍一等兵高橋信正治癒退院歸隊ス
- 四 宮城作業隊長谷川軍曹連絡ノ屬來隊 即日歸隊ス
- 五 本日作業人員 四三名 勞務者 九名
- 六 本日現員 將校ニ名 下士官兵 七七名
- 一 中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
- 二 師團薪炭班ニ陸軍一等兵佐藤吉松陸軍一等兵佐藤田中

陸中日誌用紙

嘉數

情報

情報

一月十日
雨一曇
嘉數

- 富榮ノ兩名ヲ〇八〇〇本部ニ差出シ副官ノ指示ヲ受ケレム
- 二 〇八〇一宮古島空襲警報発令 彼我不明機編隊那覇ニ向ヒ進行中
- 四 〇八五〇警戒警報発令
- 五 〇九〇〇空襲警報発令 彼我不明機大編隊北上セリトノ情報アリ嚴ニ注意ヲ要ス
- 六 一〇三〇空襲警報解除
- 七 一五二〇警戒警報解除
- 八 一四〇〇降雨ニヨリ陣地構築作業ヲ中止ス
- 九 本日作業人員 三一一名
- 一〇 本日現員 將校ニ名 下士官兵 七七名
- 一 中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
- 二 本日ヨリ畑地八五〇坪ヲ耕地ニ現地自活ノ屬野菜ヲ栽培ス
- 三 葛城中尉宮城作業隊ヨリ連絡ノ屬來隊 即日飯隊ス

別紙四

- 四 大隊本部ヨリ陣地構築用木材受領ス
- 五 大隊本部ヨリノ指示ニ基キ木工兵佐藤一兵ヲ〇八〇〇本部ニ差出シ副官ノ指示ヲ受ケシム
- 六 本日作業人員 三八名 勞務者 四名
- 七 本日別紙被服受領ス
- 八 本日現員 將校二名 下士官兵七十七名

一月十一日

嘉 曇

- 一 中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
- 二 〇八〇〇本部ノ指示ニ基キ自動偵察車一輛ヲ本部ニ差出シ伴中尉ノ指揮ヲ受ケシメ與那原ヨリ陣地構築資材ノ輸送ニ任ゼシム
- 三 宮城宿營地彈藥庫ヨリ彈藥ヲ搬送ス
- 四 本日作業人員 三八名 勞務者 五名
- 五 本日現員 將校二名 下士官兵七十七名

陣中日誌別紙

一月十一日

嘉 雨

- 一 中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
- 二 本部經理室ヨリ事務用消耗品(二月分)ヲ受領ス
- 三 個人支給消耗品トシテ塵紙各人ニ〇〇枚宛支給ス
- 四 恤兵品陣中俱樂部三十五部受領各分隊ニ配布ス
- 五 交換被服トシテ冬襦袢袴下各一〇個受領ス
- 六 別紙中隊命令ニ基キ葛城中尉巡察將校服務ス
- 七 本日作業人員 三七名 勞務者 一六名
- 八 本日現員 將校二名 下士官兵七十七名

中隊命令別紙五

一月十三日

嘉 曇

- 一 中隊ハ本日休養トシ一般ニ外出ヲ許可ス
- 外出人員 下士官以下二十八名 異常ナク飯隊ス
- 二 〇七〇〇被甲検査ヲ實施ス
- 三 本週勤務員 週番士官 川瀬 曹長

一月十七日
嘉曇
高日命
別紙一。

五、本日作業人員 三九名
六、本日現員 將校二名 下士官兵七七名

一、中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
二、高日命第百號受領別紙ノ如シ

三、一三三〇昨日勤務員大隊醫務室ニ於テ月例身體検査ヲ實施ス
四、大隊本部ヨリ冬襦袢袴下各八五個受領ス

五、本日作業人員 三九名
六、本日現員 將校二名 下士官兵七七名

一月十八日
晴曇
嘉曇
別紙一。

一、中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
二、本日ヨリ眞榮原部落ノ補助勞務者ヲ割當ラル
三、被服用消耗品ヲ受領ス

四、一三三〇中隊長本部ニ於ケル會同ニ出席ス

五、小川軍曹事務連絡ノ爲宮城作業隊ニ出張即日飯隊ス
六、本日作業人員 三八名 勞務者 二一名
七、本日現員 將校二名 下士官兵 七七名

一月十九日
晴
嘉曇
別紙一。

一、中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
二、大隊本部ノ指示ニ基キ森本兵長以下六名ヲ〇八〇〇本部ニ差出シ山田伍長ノ指揮下ニ入ラシメ當山ニ於テ木材ノ搬送ニ當ラシム

三、宮城作業隊ニ陣地構築指導ノタメ出張中ノ葛城中尉ハ陣地完成セリニ依リ飯隊ス
四、本部兵器室ヨリ陣地構築用木材ヲ受領ス

情報
別紙二

五、本日受領情報別紙ノ如シ
六、小川軍曹ハ勞務者賃金支拂ノタメ眞志喜ニ出張即日飯隊ス

四字抹消

一月二十日

嘉数晴

七、本日作業人員一六名 勞務者一二名
八、本日現員 將校二名 下士官兵七七名

一、中隊ハ〇八〇〇ヨリ内務検査ヲ實施。九〇〇終了後休養トシ
一般ニ外出ヲ許可ス

外出人員 下士官以下二一名 異常無ク飯隊ス

二、高田命筆 休養室ニ於テ加藤中ノ竹内上等兵ハ治愈セルニ付

武田小隊ニ復飯セシム

三、本日現員 將校二名 下士官兵七六名

一月二十日

嘉数晴

一、中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス

二、〇八〇〇中隊長全員ニ對シ犧牲的精神ト題シ訓話ヲ為ス

三、一〇一五空襲警報發令 中隊長以下四名ノ対空監視哨

ヲ嘉数高地ニ配置警戒下ニ作業ヲ續行ス

陣中日誌可紙

四、一三〇頃敵機來襲セルモ我が對空砲火ニヨリ間モナク脱去セリ

五、中隊長陣地構築作業ノ外ハ巡視ス

六、本部ノ指示ニ基キ自動貨車一輛ヲ福島中尉ノ下ニ差出シ

金武ヨリ木材輸送ニ任ゼシム

七、本週勤務員 週番士官 川 瀬 曹長
週番下士官 森 本 兵長

八、本日作業人員 三七名 勞務者 二〇名

九、本日現員 將校二名 下士官兵 七六名

一月二十一日

嘉数晴

一、〇六一〇空襲警報發令

中隊長以下四名ノ對空監視哨ヲ嘉数高地ニ配置〇六四五

敵機來襲ト共ニ所要ノ傳令宿舍監視兵ヲ設置待避ス

二、〇九二〇ヨリ敵機來襲ノ間斷ニ陣地構築作業準備ヲナサシ

メ至嚴ナル警戒ノ下作業ヲ續行ス

四字抹消
一字加

三、宮城作業隊ハ〇六四五敵機ノ空襲ヲ受クルヤ長谷川軍曹
指揮ノ下直チニ全員五八高地棲息掩蔽部ニ待避ス
第四次ノ來襲ニヨリ宿營地内ニ投彈家屋ノ火災發生スルヤ
長谷川軍曹ハ民防火群ヲ併セ指揮シ消火ニ努メ玉菊
軍曹指揮ノ下ニ宿舍内ノ兵器及被服共他諸物品ノ搬出
ニ任ゼンハ折カラテ間断ナキ搬執物ナル敵機ハ投彈機銃掃
射ヲナス等民間為ニ死傷者ヲ出スル至リタリ製作業隊全
員危険ヲ意ニ介スルナク克ク一致協力兵員亦事故ナク
撤出ヲ了セルモ機銃彈ニヨリ遂ニ兵器被服ニ若干ノ損害ヲ
出スニ至リ
〇九四〇頃ノ投彈ニヨリ所用宿舍ニ軒倒壊セラレタリ
四、本空襲ニ於ケル宮城作業隊ノ行為ニ對シ中隊長賞詞(別紙)
ヲ與ヘ共ノ沈著ニテ果敢ナル行為ヲ賞ス
五、長谷川軍曹一八〇〇來隊狀況ヲ報告ス

別紙ニ

空襲日記

六、一八三〇空襲警報解除
七、一九三〇空襲警報發令
情報ニヨレバ小銃飛行場爆撃中
八、二〇五〇空襲警報解除
九、情報 本日ノ空襲ハ相當長期ニ亘ル見込ニ艦砲射撃ヲ
受クル算アリ
一〇、本日現員 將校ニ名 下士官兵七六名
一、中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
二、中隊長宮城作業隊ノ狀況視察ノタメ〇九三〇出發
一五ニ〇 飯隊ス
三、本日下士官兵ノ俸給ヲ支給ス異常ナシ
四、島尻郡玉城監視哨ノ報告ニヨレバ〇九一五頃ヨリ沖繩
本島西方ニ五回ニ亘リ十數発ノ聲ヲ聞イタリ(球

情報

一月二十三日
嘉晴

情報

軍通報) 注意ヲ要ス

五 一大三〇警戒警報解除

六 本日作業人員 二〇名

七 本日現員 將校 二名 下士官兵 七六名

一月二十五日

晴

嘉敷

一 中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス

二 大隊經理室ヨリ日用品甲乙受領 各人ニ支給ス

三 柿原曹長小川軍曹官城作業隊ノ被害状況ヲ視察ス

四 一月分下士官兵野金額 左ノ如シ

一金 九百四拾五圓也

五 本日作業人員 三六名 勞務者 一三名

六 本日現員 將校 二名 下士官兵 七六名

一月二十五日

一 中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス

連中日誌再録

晴

嘉敷

一 中隊長ハ〇八三〇ヨリ各隊ノ陣地状況ヲ視察ス

二 本部ノ指示ニ依リ尾崎一等兵ヲ〇八〇〇本部ニ差出シ金

武ヨリノ陣地構築用木材ノ輸送ニ任ゼシム

三 本日作業人員 三五名 勞務者 一八名

四 本日現員 將校 二名 下士官兵 七六名

一月二十六日

晴

嘉敷

一 中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス

二 一三〇〇ヨリ各分隊毎一式機動四七銃砲側動作ヲ教育

演練ス

三 現地自活トシテ割當ラレタル苧麻種子ヲ陣地附近空地ニ

蒔種ス

四 高日命第十三號受領別紙ノ如シ

五 本日作業人員 二三名 勞務者 一三名

六 本日現員 將校 二名 下士官兵 七六名

高日命
別紙二

四等林道
三ノ如入

一月二十七日
曇一雨
嘉數

- 一 中隊ハ本日休養日トシ一般ニ外出ヲ許可ス
- 二 去ル二十日空襲後、際行動他ノ範タル官城作業隊ニ賞詞
傳達ノ為、中隊長官城へ出張即日飯隊ス
- 三 本日巡察將校 陸軍曹長 川瀬要吉
- 四 本日外出者 下士官以下 十六名 異常ナシ
- 五 本日現員 將校 二名 下士官兵 七六名

一月二十八日
曇
嘉數

- 一 中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
- 二 高日命第十三號ニ基キ木造船建造要員トシテ軍經理部
へ分遣ノ陸軍一等兵松野一郎ハ〇七三〇出發ス
- 三 大隊本部ノ指示ニヨリ官城作業隊ハ撤收全員異常
ナク嘉數中隊宿營地ニ復飯ス
- 四 高日命第十五號受領別紙ノ如シ

一月二十九日
晴
嘉數

速工作業
別紙一六
高日命
別紙一五

- 五 本部經理室ヨリ陸寫器一台及集積用殺蟲液一樽ヲ
受領ス
- 六 本日作業人員 三七名 勞務者 一四名
- 七 本日現員將校 二名 下士官兵 七五名
- 一 中隊ハ所要ノ勤務員ヲ除ク全員陣地構築作業ヲ續行ス
但シ伊祖陣地ハ大隊ヨリ指示ニ依リ午後ヨリ作業ヲ一時中
止ス
- 二 〇九〇〇 中隊長 大隊本部ニ於ケル 會同ニ出席ス
- 三 大隊本部ヨリ共用被服トシテ毛布ニ〇枚受領ス
- 四 速工作業別紙ニ號受領別紙ノ如シ
- 五 高日命第十六號受領別紙ノ如シ
- 六 本日作業人員 一八名 勞務者 一七名
- 七 本日現員 將校 二名 下士官兵 七五名

一月三十日
晴
嘉数
味三作命
別紙一七

- 一 速三上作命甲第一號受領別紙、如シ
- 二 中隊ハ速三上作命甲第一號ニ基キ八五高地附近第一中隊陣地ヲ申受ケ嘉数七〇高地陣地ト共ニ作業ヲ續行スルニ決ス
- 三 中隊ハ本日作業準備ノタメ器具資材ノ整備及兵器被服ノ手入ヲ実施セシメ七〇高地作業班ハ前作業ヲ續行ス
- 四 〇八〇〇中隊長ハ各作業班長ヲ帶同大隊長ト共ニ新陣地ヲ偵察ス
- 五 速三上作命甲第一號ニ依リ金武ニ於ケル部隊伐採隊長ヲ命ゼラレタル川瀬曹長ハ伐採隊勤務ノ内山兵長中島一等兵ヲ引率〇八三〇出發ス
- 六 本部ヨリノ指示ニ依リ金武伐採隊連絡員トシテ

陣中日誌

- 上浦一等兵ハ〇八三〇川瀬曹長ト共ニ出發ス
- 七 一月十六日以降 旅團木材輸送隊ニ勤務中ノ池田伍長ハ輸送隊解散ニ依リ飯隊ス
- 八 高日命第十六號ニ基キ本日ヨリ部隊衛兵ヲ差出ス
- 九 一四〇〇内間ヨリ武田少尉連絡ノタメ來隊即日飯隊ス
- 一〇 本日作業人員 一一名 勞務者 五名
- 一一 本日現員 將校 二名 下士官兵 七五名

一月三十日
晴
嘉数

- 一 中隊ハ本日ヨリ新陣地ノ構築作業ニ着手ス
- 二 〇八〇〇中隊長ハ柿原曹長山本軍曹ヲ帶同各作業場ヲ巡視陣地作業ヲ指導一〇〇〇飯隊ス
- 三 獨立歩兵第十四大隊ニ配屬中ノ武田小隊ハ速三上作命甲第一號ニ依リ今般其ノ配屬ヲ解カレ中隊復飯トナル
- 四 一〇三〇中隊長ハ十四大隊長ニ申告ノタメ出發引續キ

武田小隊ニ至リ其ノ撤收ヲ指導 武田小隊ト共ニ全員
 異常ナク一八三〇嘉敷宿营地ニ到着ス
 四 本日作業人員 三七名 勞務者 六〇名
 五 本日現員 將校三名 下士官兵 一〇六名

別紙

(二月分)

別紙一



高日命第一號

高橋部隊曰々命令

西三日 天原

一 明一月四日勅諭奉讀其情勢依り各隊毎ニ

實施スベシ

實施要領ハ高日命第五六號第一項ニ同シ

別紙ニ

高日命第三號

高日命部隊日々命令

一月五日 一六〇〇
原

一 明六日九時ヨリ本部事務室前ニ於テ格闘射撃場ニ
對空射撃ノ普及及教育ヲ實施スルニツキ兵長以上集合

スベシ

但將校ハ勤務其他ニ支障ナキ者ノミトシ專習員ハ全
員小銃及銃劍ヲ携行スベシ

別紙三、

連三作命四八號

獨立速射砲第三大隊命令

四月六日 一六〇〇 原



一大隊八月九日以降別紙編成人員ヲ 金武ニ派遣シ

師團、薪炭生産取得ニ協力セントス

二各隊長八月九日八時迄ニ派遣人員ヲ本部ニ集合セ

シメ大隊副官、指示ヲ受ケレムベシ

三細部ハ大隊副官指示スベシ

大隊長 高 橋 巖

下連法 命令受領者ヲ集メ口連筆記

遊三作令内第八號

編成要領

隊別	第一中隊	第二中隊	第三中隊
區分	（内長色）	二	二
差出人	一月九日正午	普天間地方事務所	二
集合場所	二	斧	鉗
携行器具	一	一	一
個人服装其他	<p>一 服装 背袋及被甲、除軍裝トシ主布ニ枚 日用品若干携行 二 普天間地方行軍トシ普天間ニ寢具 及携行器具、タメ委員ニ於テ履車一 台、準備ス</p>		

備考 一 大隊、金武地ニ據新炭班（隊長田中三郎中尉）第三分隊（長島車隊下

士官）第三班ト志ス

第一中隊より出ル兵長八人中、引率責任者トス



一月十日受領被服品目員數明細表

品目	員數	摘要
夏衣	一五個	
夏袴	一五個	
防暑略衣	一〇個	
防暑略袴	一五個	
防暑襦袢	六個	
防暑袴下	五個	
略帽	一〇個	
地下足袋	三〇組	

別紙五

中隊日日命令

一月十一日一六〇〇
嘉敬

一陸軍中尉 葛城 忠太郎

一月十二日巡察將校ヲ服務スベシ



別紙六



高日命第八號

高橋部隊日々命令

一月十六日 西原

一明後十五日別紙計四ニモトツキ挺身奇襲普及教育ヲ

実施ス

送ニニ於命兵第一號

獨立速射砲第二ニ大隊命令

一月一日 大原



一 旅團ハ國頭郡 泉納村名嘉真附近ニ集積中、木材約四万

本ヲ輸送隊ヲ以テ一月六日ヨリ輸送ヲ開始シ各部隊ニ支附スベク

企圖シテ大隊ハ前項輸送ニ協力セントス

二 各中隊長ハ別紙ニヨリ人員ヲ差出シ夫々任務ニ服セムベシ

三 鐵田中尉ハ西原ヨリ荷馬車六車輻ヲ徵用シ一月十六日八時木材掌領

者ト共ニ宜野村役場廣場ニ於テ輸送隊長岡口准尉ヲ指揮

ニ入ラシムベシ

四 細部ハ大隊副官ヲシテ指示セム

大隊長

高

橋

巖

下是法命令受領者ヲ集メ口達筆記セム

送三作命内務第一號別紙

一 輸送隊員

- 下士官 一 第三中隊
- 兵 一 第一中隊

一月二日正午三隊門司令部に到着し
同日午前、指揮を受け、輸送業務に任ず

大村町領者

- 下士官 一 第三中隊
- 兵 一 第一中隊

一月二日八時官野澤町役場横庄場ニ
於テ輸送隊長、指揮に入る

二 服装 服装は各人全布衣、飯盒、日用品若干、携行食糧、食糧携行
三 馬車、貨銀、大隊員、携行食糧、二分増トス、馬夫三、出發當日、
晝夕食及三及至四日分、副食並ニ調味品ヲ携行セシムルコトトス
出發翌日ヨリ、主食ハ旅團ニ於テ負担ス
馬糧ハ三及至四日介携行セシムルコト

以上ノ如ク、送三作命内務第一號別紙ニ於テ、担任トテ、是レモ別ニ指示セシム

別紙

情報

一月十五日



- 一 昨西成都よりB29約五の機台湾に來襲主トシテ飛行場ヲ攻撃セリ
- 二 本一五自台湾西海面ニ空襲敵言報弁令セラレ〇九〇〇台南ニ約二〇機台中以北三十機來襲中ナリ
- 三 敵機高野原ハ高雄南方約三〇料附近ニ在リキ如シ

下士官兵體重表

昭和三年四月十九日制定

第一五五七九部隊
第三中隊

兵役別	検査人員	總体量	平均体量	最高体量	最低体量	摘要
下士官	七名	四八八・三〇〇	六九・七五七	七一・三〇〇	六二・四〇〇	
豫備兵	二〇名	一三六〇・八五〇	六三・〇四三	六七・七〇〇	五五・〇〇〇	
第一種兵	二二名	一三二〇・三七〇	六〇・〇一七	七二・五〇〇	五一・七〇〇	
第二種兵	一四名	七九二・九五〇	五九・六三九	六三・四五〇	五一・五〇〇	
第三種兵	九名	五六一・八〇〇	六二・四二二	六九・五〇〇	四九・五〇〇	
計	七二名	四〇四二・七〇	六二・一七〇	六九・五〇〇	四九・五〇〇	

(單位磅)

備考
一前月ニ比シ體重減ニタル人員六名ナルモ平均〇・七五儿程度
二三〇名第十四九隊配屬アリ



別紙一〇

高日命第一〇號

高橋部隊曰々命令

一月一七日一六〇。原

一明十八日築城ニ関スル打合セラ 實施スルニツキ各隊

長八一三三〇本部ニ集合スベシ



別紙二、

情報

一月十九日

一月十九日二四〇〇島尻郡マブニ沖合敵潜水艦発見セリ海上遮断ノ外本島地形並ニ軍事施設ヲ偵察セリト判断セラルルヲ以テ部隊ノ行動陣地施設ノ遮蔽ニ注意セラ
ルルト共ニ海上監視ヲ嚴ナラシメラレタシ



賞 詞

長谷川分隊
玉菊分隊



右ハ作業班トシテ宮城ニ宿營中一月三日未明突
如龍來セル敵艦載機ニヨル空襲ヲ知ルヤ班長指揮
ノモト直キニ全員待避偶々宿營地附近ニ投彈
火災ノ發生ヲ見ルヤ反覆執拗ナル銃撃投彈
等附近一瞬ニシテ阿修羅ノ慘狀ト化セルモ
危険ヲ意ニ介セズ克ク相扶ケ兵器被服

諸物品ノ搬出ニ任ジ之ガ損害ヲ最少限ニ止メ且
地方罹災民ノ收容救護其ノ他待避指導等火急
ニ處ニテ沈着剛騰機宜ニ適セル迅速ナル行
動ハ之旺盛ナル責任觀念ト崇高ナル犠牲的精
神ノ光露ニシテ模範トスルニ足ル
仍テ茲ニ賞詞ヲ與フ

昭和二十年一月二十三日

球第一五五七六部隊田村隊長

別紙三

高日命第十三號

高橋部隊日日命令

一月二十六日一六〇。
西原

陸軍一等兵 松野 一郎

木造船製作要員トシテ軍經理部へ分遣ヲ
命ズ

仍テ一月二十日一四〇。嘉手納驛前ニ集合スル軍經
理部員ノ指示ヲ受クベシ
服装ハ軍装トシ毛布ニ枚糧秣ハ甲十日分乙一日分
携行スルコト



別紙
四

高日命第十五號

高橋部隊日々命令 一月二十八日一六〇〇

山

一 明二十九日中隊長會議ヲ実施スルニ付
各隊長八九時迄ニ本部ニ集合スベシ

高日命第十六号

高橋部隊日命令 一月十九日一六〇〇

一月三十日より部隊衛兵ハ混成トシ左ノ編成ニ服務スベシ

司令一(下士官又ハ兵長) 一隊 及 ハ隊

歩哨掛一(上等兵) 八隊 及 一隊

歩哨 三(一ニ等兵) 本部一 一隊 一八隊 一



但シ一月三十日ハ司令ハ一隊 歩哨掛ハ八隊トスルモ

三十一日以降ハ司令及ビ歩哨掛ハ隊及ビ一隊ニ

於テ交互ニ差出スモノトス

別紙十六

速ニニ作命丙第二號

獨立速射砲第三十二大隊命令

一月二十九日一六〇。西原



- 一 大隊ハ金武村附近ニ派遣シアル木杖伐採隊ハ編成ヲ別紙ノ如ク改メ依然前任務ヲ續行セシムトス
- 二 第三中隊川瀬曹長ハ新ニ木杖伐採隊長トナリ明三十一日金武村ニ赴キ前任伐採隊長林中尉ヨリ任務ノ引継ヲ受クベシ引継完了三月五日トス
- 三 各隊長ハ別紙編成ニ基キ夫々兵員資材ヲ交代差出シ木杖伐採隊長ノ指揮ニ入ラシムベシ
- 四 細部ハ速ニニ作命丙第七號(昭和十九年三月三十日)ニ據ルベシ

大隊長 高橋 巖

命令受領者ニ口達筆記



備考

隊 區 分	編成		前編成		新編成		交代要領
	長	兵	長	兵	長	兵	
本部		三ノニニ		三ノニニ		三ノニニ	一月三十一日以降車輛一 操縦手一 本部ニ復取 スベシ
第一甲隊		六		六		六	前任務ニ全シ
第二甲隊	一	一五					第二甲隊林中尉木村伍 長ヲ除キ一月三十一日ヲ 以テ復取スベシ
第三甲隊	三			四			第三甲隊長ハ武田小隊 復取後兵ニ名ヲ附如セ シムベシ

資車輛
 資車輛
 長
 官下
 (長兵適)
 兵
 資車輛
 長
 官下
 (長兵適)
 兵
 資車輛
 資車輛
 長
 官下
 (長兵適)
 兵

(資 他、其)
 (資 他、其)
 (全ニ前 他、其)

別紙十七

速三作命甲第一號

獨立速射砲第二十二大隊命令

一月三十日〇八三〇
西原



一 師團ハ防衛部署ヲ變更ス

此^レガ爲大隊ハ第二中隊ヲ歩兵第六十四旅團ニ
配屬シ第三中隊ノ一ヶ小隊ヲ原所屬ニ復歸サレ

二 歩兵第六十三旅團(獨立歩兵第十二大隊缺獨立機

關銃第四大隊(第三中隊缺)獨立速射砲第三十二

大隊(第二中隊缺)海軍沖繩第十二砲臺屬)ハ別

紙ノ如ク防衛部署ノ一部ヲ變更シ主陣地ヲ劃期

的ニ強化セント企圖シヤリ

其ノ細部石六三旅作命甲第六號ノ如シ

三 大隊(第二中隊缺)ハ原態勢ノ儘旅團ノ企圖ニ基キ

一部ヲ以テ田村部隊並ニ三浦部隊主力ヲ以テ原部隊ノ
戰鬪ニ協力スル如ク陣地ヲ劃期ヨシ強化構築セントス
四 大隊本部ハ依然西原ニ在リテ前作業ヲ續行スベシ
五 第一中隊ハ主力ヲ以テ田村部隊陸正面ノ戰鬪ニ一部ヲ以テ
三浦部隊海正面ノ戰鬪ニ協力シ得ル如ク我如古東
方高地附近△二四六高地西方附近及ヒ初長南方
高地桃原西方高地附近ニ夫々陣地ヲ強固ニ構
築スベシ

六 第三中隊ハ主力ヲ以テ原部隊陸正面ノ戰鬪ニ協力スル
如ク△八五三高地東西ノ線附近大謝名東端ニ一部
ヲ以テ海正面ノ戰鬪ニ協力スル如ク○七一高地附近
及ヒ伊祖北方ニ夫々陣地ヲ強固ニ構築スベシ
七 陣地引繼ニ關シテハ現地ニ於テ各隊長ニ直接口達ス
八 陣地占領ニ當リテハ各隊相互ニ協同ヲ密ナラシメ且防

九 衛地區中隊長ト緊密ニ連繫ヲ保持スベシ
陣地構築ハ成ル可ク概設ノモノヲ利用シ對空處置ヲ講
シツ、二月末日迄ニ之ガ概成ヲ期スベシ
一〇、陣地構築ニ要スル資材其ノ他ニ關シテハ別ニ指示ス
一一 予ハ西原ニ在リ

大隊長 高橋 巖

印刷配布